けやきっ子ゆうゆうプラザ

会　場	開　設	令　和　３　年　度　の　活　動　状　況				
		参加人数			開設期間 曜日・数	講座数
東鷲宮 小学校	H23.9	子ども (参加率)	実施委員	サポーター	６／１４～２／２１ 月・土 計１８日	１７
		２６０ (46.0%)	２３	１５６		

１．あいさつ

すばらしい「中学生のサポーター」パワー

けやきっ子ゆうゆうプラザ実施委員長　中尾俊彦

今年度、実施委員長として、嬉しいことがふたつありました。

ひとつは、２６０名もの児童から講座の申し込みをいただいたこと。これは在校生全体の４６%にあたり、近年にない高いパーセンテージで、市内２２小学校各ゆうゆうのなかで、申込数・比率ともに高い数字で、子どもたちの中でその存在が大きく認められていると、実施委員一同自負しているところです。

もうひとつは、多くの中学生サポーターが、講座を手伝いに来てくれていることです。鷲宮東・鷲宮の両中学校長を通してお願いにあがった成果で、ゆうゆうの先輩として、今年度２３名の登録をいただき、講座運営のお手伝いをしてくれています。子どもたちにとって、自分とさして年齢差のない先輩たちと楽しそうに遊べる、中学生も少しばかり自慢気に先輩づらができる、いい機会になっているようです。

今年度も閉校式が出来ないなか、新設したけやきっ子のホームページ拡大版として、パソコン講座指導者の協力を得て、コロナ禍での「リモート閉校式」を計画しています。どんな閉校式ができあがることやら。けやきっ子のホームページでご覧いただける予定です。

体験を通して進んで楽しみながら学ぶ「主体的、協働的で深い学び」

久喜市立東鷲宮小学校校長　中島　敬

令和３年度は、土曜日実施の特別講座を含めて１７講座に全校児童の約４６％強にあたる、２６０名が参加させていただきました。本校の自慢の活動が終わろうとしています。この活動を支えていただいております中尾委員長をはじめとする実施委員の皆様、講座指導者の皆様、地域・保護者サポーターの皆様には心から感謝申し上げます。

さて、本年度は、コロナ禍の影響により、予定回数より実施回数が若干少なくなってしまい子ども達もとても残念がっていました。しかし、活動している様子を拝見するとどの講座も活動内容が濃く、子ども達が地域の方々や保護者の方々、また、子ども達同士との関わりの中で、確実に成長している様子を見て取ることができました。学校生活の中ではなかなか学習できないことを、貴重な体験を通して進んで楽しみながら学ぶことができました。これぞまさに「主体的、協働的で深い学び」です。

少子高齢化の時代において、子どもは地域の宝です。「家庭でしつけ、学校で教え、地域で見守り、育てる」ために、この『けやきっ子ゆうゆうプラザ』はたいへん重要な役割を果たしております。今後もこの活動が長く継続され、多くの地域の皆様、保護者の皆様のご支援とご協力により一層の充実が図られますことをお願い申し上げます。

２．けやきっ子ゆうゆうプラザの取り組みと活動紹介

（１）けやきっ子ゆうゆうプラザの特徴

①コロナ禍にあって昨年も増えたが、さらに今年も増加した参加者

今年度の講座参加者は、在校生の４６％にあたる２６０名。これは近年にない参加者数、参加率で、コロナ禍にあって、児童はやはり体を動かしたいのでしょうか？

②校庭利用の２講座に９７名の参加児童

増加した児童は「サッカー&ベースボール」「楽しいあそび」の各講座の低学年に多く、雨天時に２講座約１００名の児童を整然とリードするため、実施委員長による合同レクを企画、これまで２回行いました。

③１７の講座で１５７もの延べ講座数

久喜市内でも在校生の多い小学校であり、多くの児童に楽しく参加してもらうため、講座の数、いわゆる「間口」を広げることと、その内容の深さを出来るだけ追及するため、指導者にお願いしてできるだけ講座の回数を増やしていただいた結果、月曜が１５講座に延べ１５３回、これに土曜２講座が延べ４回加え、参加児童の満足度を上げる努力を行っています。

④講座のサポーターに「中学生」が加わる

講座を支えるサポーターに、従来から地域や保護者サポーターにお願いしていましたが、中学校長に依頼して「中学生サポーター」を加えることにしたところ２３名が集まりました。参加児童と歳が違わずすぐ馴染み、中学生も「先輩風をふかす」いい機会として、予想以上にいい感じに運営ができていました。

（２）講座の紹介（当初の予定）

〈月曜講座〉

講座名	指導者（敬称略）	参加人数	講座回数
サッカー&ベースボール	藤原敏昭・牟田弘明	３１	１４
楽しいあそび	大森真由美	６６	７
室内ボードゲーム　★	橋本時比康	１９	１４
キッズダンス	池亀紀子・矢部久美子	２８	１４
楽しく演奏会	遠藤恵子	６	１１
君も名人－将棋に親しむ	森田要・関利光・西島吉徳	７	１４
自然の観察&絵手紙	宮川俊治・塚原節子	１０	８
ロボット講座	山本晃生	５	６
エンジョイ！パソコン　★	木内明子	１８	１０
上手な写真のとりかた	白石荘	１４	８
陶芸教室	山﨑弘美	１８	７
エコクラフト	丹野美恵子	６	１０
季節とふれあうフラワーデザイン	佐藤栄子	１０	６
おりがみアート	鈴木浩美	１３	１０
児童実施委員	中尾俊彦	８	１４
月曜講座合計	２０名	２５９	１５３

〈土曜講座〉

プログラムでマイロボットを動かそう　★	柳生進二郎・栗田賢一	３	３
パンフラワーで干支を作ろう	樫浦道子	４１	１
土曜講座合計	３名	４４	４

★は、指導者の変更、内容リニューアル講座。

複数講座受講の児童がいるため、合計は参加児童数を超えている。ほかに土曜講座１回の身の児童が１名いる。

また、講座回数は「閉校式」を除く通常の講座回数。

（３）講座活動の様子

〈月曜講座〉

サッカー&ベースボール

楽しいあそび

キッズダンス

楽しく演奏会

君も名人－
将棋に親しむ

室内ボードゲーム

ロボット講座

自然の観察&手紙

エンジョイ！パソコン

上手な写真のとりかた

陶芸教室

エコクラフト

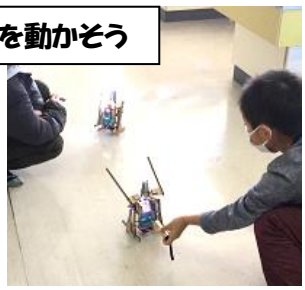
フラワーデザイン

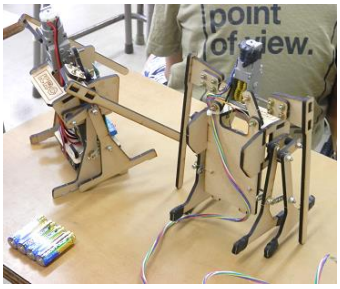
おりがみアート

児童実施委員

〈土曜講座〉

プログラムでマイロボットを動かそう





パンフラワーで干支を作ろう

３．けやきっ子ゆうゆうプラザの成果と課題

〈成果〉

・昨年も今年度もコロナ禍で何日か休講せざるを得なかったが、児童のゆうゆう参加意欲は例年に比べ、むしろ高くなっており、特に今年度の参加率、参加児童数とも高く、児童の中でのゆうゆうの存在がさらに大きなものになってきているのがうかがえる。

・サポーター不足を補うため窮余の一策として踏み切った中学生サポーターだったが、児童も中学生も満足気にしていることが嬉しい。

・休講がちの活動を、何とか保護者などにみていただきたいということから、けやきっ子のホームページを開設、リモート閉校式へと繋がっている。

〈課題〉

・開校以来 10 年を経過し、指導者、地域サポーター、実施委員とも高齢化が進み、これまでの延べ講座数志向から〈質〉へと方向転換を考えていく必要がある。

・児童の講座選択を第 1 希望としているためか、偏りが目立つようになってきている。解決策はないものだろうか。

雨天の体育館で 2 講座の合同レクを整然と行う